



東日本ユニオンにいがた

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年11月25日発行

第20号(通巻第380号)

発行者:星山圭 編集者:組織部

流入や崩壊、橋梁流失など



昨年の団体交渉で支社側 「改善に向け努力する」

新潟地本は11月10日、申7号・只見線の安
全性向上に対する申し入れを提出しました。
社員とお客様の命を守るために、無線難
聴区間に於いて確実に列車を止められる設
備の整備を求めます。

2025年8月21日、只見線2421Dが雨規制
の受信を出来ず、規制区間を通常の速度で走行する事象が発生しました。

只見線での同種事象は過去にも発生しており、乗務員と輸送指令員が支障なく連絡できる環境の整備を求め、2023年度申13号「只見線における無線設備の改善を求める申し入れ」により団体交渉を行つた経緯があります。

この交渉で新潟支社は、只見線は無線が繋がりにくく線区であることを認めた上で、「輸送指令員は運転士に対して無線機・業務用携帯電話・衛星電話機などあらゆる手段を使い呼び続ける対応を行つたことから、結果として雨規制区間を所定速度で走行したものの取扱い上の問題はなかつた」との回答を行いました。しかし、大雨による土砂

只見線において雨規制車が雨規制区間を通常の速度で走行した事象は、2023年11月にも発生しています。

この事象をめぐり新潟地本は昨年1月に「只見線における無線設備の改善を求める申し入れ」の団体交渉を行い、早急な対策を求めました。

交渉の中で支社側は、当

日の対応について輸送指

令上違反はしていない」と

列車を止めようとしたが、

4分にわたり乗務員に連

絡が出来なかつたと経緯を説明しました。その上で速度規制区間を4分にわたり走行したことに対するは、あらゆる手段を用いて最終的に列車を止めたので速度超過ではなく、「運転規制区間を

ではなく、「運転規制区間の安全上の問題」を訴えた組合側と、最低限必要な設備は整えており、点検も実施しているため「規程・省

きのこ園」において、多くの組合員参加のもと、「き

方し、当日はむしろ暑さも感じじるほどの好天に恵まれました。

美味しいキノコとBBQを堪能し、組合員からは「人生で一番キ

ノコを食べた日になりました」との声も聞こえました。

キノコ BBQで心身共に癒され、今後の取り組みへの熱意を新たにしました。

(新津地区分会投稿)

申7号・只見線の安全性向上に対する申し入れ 社員とお客様の命を守るために 列車を止める設備の整備求める

新潟地本は11月10日、申7号・只見線の安
全性向上に対する申し入れを提出しました。
社員とお客様の命を守るために、無線難
聴区間に於いて確実に列車を止められる設
備の整備を求めます。

2025年8月21日、只見線路に支障をきたす恐れがある雨規制区間の所定速度での運転は、列車の脱線・転覆をはじめとする重大な事故につながります。自然災害が激甚化している中で、お客様や社員の命を守るために、列車を直ちに確実に止められる設備を整えること。

■申7号 申し込み項目

1. 只見線の無線難聴区間に於いて確実に列車を止められる設備を整えること。

2. 只見線の無線難聴区間に於いて確実に連絡が取れる設備を整えること。

設備を早急に整えることが必要です。

新潟地本は11月10日、申7号・只見線の安全性向上に対する申し入れを提出しました。

年末手当回答再考を求めて交渉 経営側「最終回答」との姿勢変えず

本部申15号・2025年度年末手当回答の再考を求める緊急申し入れ団体交渉

年末手当回答の再考を求めて交渉
経営側「最終回答」との姿勢を変えず

年末手当回答の再考を求めて交渉
絏営側「最終回答」との姿勢を変えず

年末手当回答の再考を求めて交渉
絏営側「最終回答」との姿勢を変えず